

中津小学校区

中津地区 ワークショップ実施概要

テーマ	中津地区の魅力と課題とこれから		
実施内容	第1回	令和3年10月17日（日）10時-12時	19人
		・中津地区の魅力と課題を考えよう	
	第2回	令和3年11月28日（日）10時-12時	21人
		・中津地区のまちづくりテーマを深めよう	
	第3回	令和3年12月12日（日）10時-12時	23人
		・中津地区で進めたいまちづくりアイデアを考えよう	
結果概要	地域活動を持続していくために、下記の視点で話し合った。 （１）誰もが楽しく参加するためには （２）負担を減らすためには （３）多くの人に情報を伝えるためには ○参加しやすい入口を作って新しい人を呼び寄せる取り組み ・新しいイベントのイメージ「安威川ウォークラリー」 ○自由にアイデアを出し合うための工夫 ・自由な企画会議からスタートする、みんなで取り組む good サイクル ○みまもり隊の活動にいろんなカタチで参加できるとよい ・犬の散歩や家の前の水やり、掃き掃除、ウォーキングなど、見守るタイミングは色々ある ○誰もが参加できる体育祭・盆踊り・防災訓練に！ ・若い人も参加しやすい内容を考える ・当日参加できるプログラムを考える ・準備の負担軽減や役割分担を考える ・中高生にも参加してもらえるように企画段階から関わってもらう ・SNSなども使って誰でも知ることのできる情報発信を行う ○ワントイムの参加も可能としよう ・自治会に参加していない人へも、広報したり、小さなイベント的に活動していくなど、ワントイムの参加を促していく ○いくつになっても集まれる場所をつくろう！ ・年齢に縛られずに参加できる場 ・今ある場を活用することから考える		
来年度以降 に向けて	・出てきたアイデアをできることから具体化するために自由な企画会議の場を設ける ・若い人や中高大学生の意見を聞き、企画段階や運営に関わってもらうことで、地域に参加するハードルを下げる ・自治会に参加していない人や若い世代に向けて、SNSでの情報発信にチャレンジ		

【WSの様子：写真】

第1回



第2回



第3回



地域活動の活性化に向けたワークショップ

中津地区

第1回	中津地区の魅力と課題を 考えよう	10/17 (日) 10時-12時
第2回	中津地区のまちづくりテーマを 深めよう	11/28 (日) 10時-12時
第3回	中津地区で進めてみたい まちづくりアイデアを考えよう	12/12 (日) 10時-12時

第1回ワークショップのまとめ

第1回ワークショップでは、中津地区の魅力や課題をテーマに

- ・自己紹介
- ・地図をもとに、中津地区の自慢できる魅力と、困っている課題

を話し合いました。

中津地区の魅力と課題を考えよう！

- ・話し合いのきっかけとして、魅力・課題のカードと、中津地区の地図を用意しました。

魅力カード

よく行くお店 (物販・飲食・サービス・ レジャー など)	昔から変わらないと 感じる風景
お祭り	催し
移動や買い物の利便性	こんな人がいるよ
最近、新しくできたお店	いつも集まる場所

課題カード

生活マナー・ モラル	住環境の問題
空き家の増加	防災・防犯
高齢化が進むことで 出てきた問題	コミュニティ(つながり) の希薄化
少子化が進むことで 出てきた問題	コロナへの対応

中津地区の魅力と課題を考えよう！

- 魅力と課題それぞれについて、参加者に思い思いに書いていただき、出てきた意見を地図に整理しました。

よく行くお店 (物販・飲食・サービス・ レジャー など)	昔から変わらないなど 感じる風景
お祭り	催し
移動や買い物の利便性	こんな人がいるよ
最近、新しくできたお店	いつも集まる場所

魅力

課題

生活マナー・ モラル	住環境の問題
空き家の増加	防災・防犯
高齢化が進むことで 出てきた問題	コミュニティ(つながり) の希薄化
少子化が進むことで 出てきた問題	コロナへの対応



中津地区の魅力と課題 一覧

魅力

- ・ **地域全体で子育てを見守るまち**
(子どもを見守りをしている、こども食堂)
- ・ **地域活動の活発なまち**
(盆踊り、地区体育祭、コミセンフェスタの餅つき)
- ・ **地域自治組織が積極的に活動している**
(ICTなど先進的な取り組み、関係者が協力的)
- ・ **マンションが増えて若い世代が増えている**
(マンション全体で自治会へ加入、若い人が運動会へ参加)
- ・ **防犯・防災活動に取り組むまち**
(防災訓練など防災活動が活発、防犯の整備)
- ・ **交通・買い物などの生活利便性が高い**
(駅に近い、商業施設が多い、バスが多い)
- ・ **自然が豊かなまち**
(大きな公園が多い、安威川、桜など自然が多い)
- ・ **歴史的な魅力があるまち**
(牟礼神社・溝昨神社、春と秋にお祭りがある)

課題

- ・ **こども会の活動が困難になっている**
(こども会の数が減少、子どもも親も忙しい、人手不足)
- ・ **高齢者間の繋がりが希薄化している**
(老人会の会員が少ない、一人暮らしの高齢者が多い)
- ・ **地域の集いの場が必要**
(高齢者の集う場所が少ない)
- ・ **マンションに住む若い世代と地域との関係を考える必要がある**
(若い世代が増えたが自治会加入者が少ない)
- ・ **地域のつながりが希薄化している**
(コミュニティが少ない、自治会加入率低下)
- ・ **これからの自治運営のあり方の見直しが必要**
(地域活動の担い手が不足、役を同じ人が掛け持ちしている)
- ・ **マナーを守り、住環境がよいまちにしたい**
(ゴミ出しのルールを守れない人がいる、堤防の適切な草刈)
- ・ **地域の交通安全に課題がある**
(信号無視などの自転車マナー)

魅力と課題をテーマごとに整理しました

テーマ	魅力	課題
高齢者	・高齢者が交流する機会がある (公民館活動の充実、シニアプラザでの交流)	・高齢者間の繋がりが希薄化している (老人会の会員が少ない、一人暮らしの高齢者が多い) ・地域の集いの場が必要 (高齢者の集う場所が少ない)
子ども	・地域全体で子育てを見守るまち (子どもの見守りをしている、こども食堂)	・子ども会の活動が困難になっている (子ども会の数が減少、子どもも親も忙しい、人手不足)
若い世代と地域	・マンションが増えて若い世代が増えている (マンション全体で自治会へ加入、若い人が運動会へ参加)	・マンションに住む若い世代と地域との関係を考える必要がある (自治会に入るところと入らないところがある)
地域活動	・地域活動の活発なまち (盆踊り、地区体育祭、コミセンフェスタの餅つき) ・地域自治組織が積極的に活動している (ICTなど先進的な取り組み、関係者が協力的)	・地域のつながりが希薄化している (コミュニティが少ない、自治会加入率の低下) ・これからの自治運営のあり方の見直しが必要 (地域活動の担い手が不足、役を同じ人が掛け持ちしている)
安全安心	・防犯・防災活動に取り組むまち (防災訓練など防災活動が活発、防犯の整備)	・マナーを守り、住環境がよいまちにしたい (ゴミ出しのルールを守れない人がいる) ・地域の交通安全に課題がある (信号無視などの自転車マナー)
魅力を活かす	・交通・買い物などの生活利便性が高い (駅に近い、商業施設が多い、バスが多い) ・自然が豊かなまち (大きな公園、安威川、桜など自然が多い) ・歴史的な魅力があるまち (牟礼神社・溝昨神社、春と秋にお祭りがある)	・住環境がよいまちにしたい (堤防の適切な草刈)

中津地区の6つのテーマ

ワークショップで出てきた「魅力」と「課題」を整理し、2回目以降に話し合うテーマを設定しました。

高齢者	年齢を重ねても、いつまでも中津地区で豊かに楽しく暮らしていくためには？
子ども	地域で子どもを見守り、子どもが健やかに育つためには？
若い世代と地域	働き盛りで忙しい若者世代と、地域でうまく関わっていくためには？
地域活動	地域全体が一体となり、多様な世代が活躍できるような地域活動を続けていくためには？
安全・安心	どんな世代の人も安全・安心に暮らし続けるまちにするためには？
魅力を活かす	歴史や自然などの中津地区の魅力を活かして、もっと住みよいまちにしていくためには？

第2回ワークショップのまとめ

第2回ワークショップでは、中津地区のまちづくりをテーマに

- ・自己紹介
- ・第1回を踏まえて、話し合いたいテーマの設定
- ・選んだテーマの現状・課題とその要因
- ・課題を解決するためのアイデア

を話し合いました。



次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

話し合うテーマを選ぼう！

- ・1回目の意見を元に整理したテーマを、カードにして、テーブルごとに話し合うテーマを選びました。

どんなまちなら、
いつまでも健康に
暮らせるだろう

年齢を重ねても、
いつまでも中津地区で
楽しく暮らすために
暮らしていくためには

誰が利用する
どのような集いの
場が必要だろう

年齢を重ねても、
いつまでも中津地区で
楽しく暮らすために
暮らしていくためには

子ども会に参加する
メリットは何だろう

地域で子どもを養育し、
子どもが豊やかに
育つためには

どうすれば子ども会
の活動を継続してい
けるだろう

地域で子どもを養育し、
子どもが豊やかに
育つためには

子どもの安全のため
に地域ができること
は何だろう

地域で子どもを養育し、
子どもが豊やかに
育つためには

若者世代が地域活動
を知るために必要な
ことは何だろう

働き盛りで忙しい若者
世代と、地域でうまく関
わっていくためには

働く世代でも抱える
地域活動とは

働き盛りで忙しい若者
世代と、地域でうまく関
わっていくためには

地域の活動はなぜ
続ける必要があるん
だろう

地域全体が一体となり、
多様な世代が活躍する
ような地域活動を
続けていくためには

イベントやお祭りに
若い人も高齢者も、
もっと参加して盛り
上げていくために
必要なことは

地域全体が一体となり、
多様な世代が活躍する
ような地域活動を
続けていくためには

自治会に参加する
メリットは何だろう

地域全体が一体となり、
多様な世代が活躍する
ような地域活動を
続けていくためには

地域コミュニティが
希薄になってきている
ことに対して、
協議会ができることは

地域全体が一体となり、
多様な世代が活躍する
ような地域活動を
続けていくためには

地域活動の担い手は
なぜ減っているのか
どうすれば持続的な形
になるのか

地域全体が一体となり、
多様な世代が活躍する
ような地域活動を
続けていくためには

マンション住民が
地域の一員として
つながるために必要
なことは何だろう

働き盛りで忙しい若者
世代と、地域でうまく関
わっていくためには

地区内での交通安全の
問題点はどのような
ところか

どんな世代の人も
安全・安心に
暮らし続けるために

防災・防犯の面で
危険だと思ふ場所は

どんな世代の人も
安全・安心に
暮らし続けるために

災害や犯罪に強い
中津地区にするために
どんなことが必要か

どんな世代の人も
安全・安心に
暮らし続けるために

利便性の高い中津地区
をもっと住みよいまち
にするために必要な
ことは

歴史や自然などの
中津地区の魅力を活かして、
もっと住みよいまちにして
いくには

公園がより魅力的な
場所となるために必要
なことは

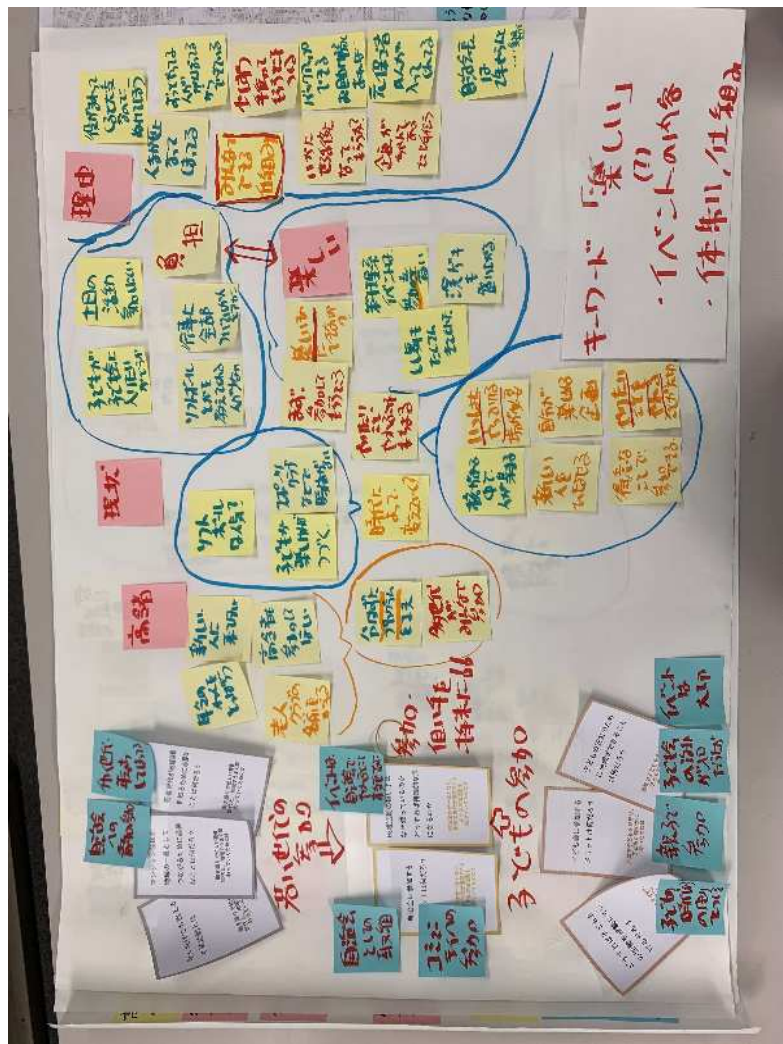
歴史や自然などの
中津地区の魅力を活かして、
もっと住みよいまちにして
いくには

公園・川などの自然や
歴史をどのように活か
したまちづくりが考え
られるか

歴史や自然などの
中津地区の魅力を活かして、
もっと住みよいまちにして
いくには

テーマについて話し合おう！

- ・選んだテーマについて、現状、課題とその要因、課題を解決するためのアイデアを話し合いました。



1 班

○若い世代の参加を促すために、楽しい行事を作りたい
 ○いろいろな人が参加して、みんなでき取り組むことのできる体制や仕組みを考える
 [中津地区]

キーワード	現状・課題	アイデア
■働く世代でも担える地域活動とは ■マンション住民が地域の一員としてつながるために必要なことは何だろうか ⇒自治会への若手の参加が必要 ■若者世代が地域活動を知るために必要なことは何だろうか ⇒働く世代が輩出してしまっている ↓ 若い世代の参加が必要	○楽しいイベントには若い世代も参加してくれる ・行事をもっと楽しいものにできないか？ ・まず参加してもらうことが大切 ・料理系イベントは楽しいので参加率が高い ・獅子舞もたくさん人が来てくれた ・演劇も盛り上がる ○負担が大きいことが担い手不足の原因になっているかも ・役がまわってくと大変なので抜けてしまう ・人任せになってしまっている ・ずっと活動に参加してくれている人が頑張っているから行事が継続している ・いかにいろいろな人に世話役になってもらおうか考える必要がある ・自治会長は2年はやらないと活動内容が理解できない。それが負担になるのだけ	○やりたい事、やれる事を持ち寄り形で作りたい ・核となる活動やイベントがある中でこそ人が集まる ・一緒にやっているとやるべき場が必要 ・新しい人を引き寄せるためには、自分が楽しめる企画であることが大切 ・自分が得意なことで参加できる場ができるとよい ・やりたい事をやれることが大切 ○みんなで行事を作りあげていく仕組みを作りたい ・一人一人が少しずつ手伝える事をつくっておくことが大切 ・こども会では、元保護者の人が手伝ってくれる ・バックアップできるお助け隊があればいい ・企画がちゃんとあるところで手伝うことができる
■どうすればこども会の活動を継続していけるだろう ■こども会に参加するメリットはなんだろう ■子どもの安全のために地域でできることは何だろうか ↓ 子供の参加が必要	○今の子どもはどんな感じ？ ・ソフトボールよりもサッカーなどの方が人気がある？ ・スポーツクラブなどで子どもも忙しくて時間がない ・子どもが楽しめるプログラムであれば続けられる ○こども会を支える大人や保護者の負担が課題 ・保護者が行事に全部ついていく必要があるのが負担になっている ・土日の活動が多いと参加しにくい ・子どもがこども会に入りたいと思える内容になっているか？ ・ソフトボールなどを教えてくれる大人が少ない	○多様な年齢層と一緒に参加できるプログラムを作りたい ・年齢層を分けずに、若い人と一緒に取り組める行事にして、一緒に参加できる（または年齢ごとに参加しやすい配慮をした）プログラムを考える
■自治会に参加するメリットは何だろう ⇒自治会としての取組 ⇒コミュニティへの参加 ■地域活動の担い手はなぜ減っているのか、どうすれば持続的な形になるのか ⇒イベントは自治会単位でやれること、校区全体で取り組むべきことがある。 ↓ 若い世代と子どもの参加を進めることで、担い手を将来に引き継ぐ！	○高齢者の集い・老人会などの課題 ・高齢者も老人会に入る人が減っている ・新しい人にも参加してきてほしい ・老人クラブの名前のイメージもよくない ・高齢者の中でも若い人と年配の人がおり、年齢の枠を取り払って参加しやすくなる必要がある	キーワード ⇒ 「楽しい」 ・楽しさを大事にしたイベントの内容を考える ・いろいろな人が参加して、みんなでき取り組むことのできる体制や仕組みを考える

2班

○イベントや活動への参加が少なくなってきたため、
活動を楽しくする工夫や情報発信を考える

[中津地区]

キーワード	テーマの現状・これまでの取組・活動	課題とその原因	アイデア
各世代の視点に立って、地域のこれからのことを考え てみよう (前回出た、交通利便性、歴史文化、自然・公園、地域のつながりといったテーマは、世代固有の問題ではないので、全世代で考えて行くべきことではないか)	○老人会の構成 ・60歳から入会できるが、70歳がメインとなっている。 ・現任180人程度いる ・自治会よりも、老人会の方が活発な印象。自治会の方が動きが鈍くなっているのでは	○老人会の入会人数が減少、活動メンバーの固定化 ・時代も変わり、60歳以上も働く時代なので、入会が少なくなっている。特に男性の入会が少ないという状況 →これまで地域との関わりがなく、馴染みにくいことが原因？ 老人会に入る前の、自治会活動などの参加率向上がポイント？ ・バス旅行など、大きなイベントは参加する幅が広がるが、その他の活動になると参加するメンバーが固定されてしまっている ・役職が自分にまわりそうになると辞める人が出てくる	○これまでの活動を楽しくする工夫 ・交流広場を充実させ、カラオケ・麻雀・手芸といった活動を復活させる ・孫や親子でもハイキングに参加できるように、参加の幅を広げる ・市の老連ではなく、単体の老人会でそれぞれ何をやっていくかを考え、個性を出していく ・河川敷のスポーツ（野球）は会関係なく自由に集まっており、好きなことで集まっている。自治会もそのような形で集まれば理想
若者・子育て世代 ■若者世代が地域活動を知るために必要なことは何だろう ■マンション住民が地域の一員としてつながるために必要なことは何だろう	○老人会でのイベント事情 ・市の老連に参加する形式でイベントが行われている（スポーツなど） ・人気のバス旅行（¥3000）に行くためには入会が必要 ・ハイキング（40人）は年2回実施している（過去は年間5回実施しており、回数自体は減っている）	○高齢化・広報不足により、活動・イベントの継続が困難に ・高齢化が進み、歩く系のイベントが難しくなってきた ・公園の草引きの参加が女性ばかりで、しかも高齢者（65〜）ばかり。マンションに参加を呼び掛けるチラシも貼らせてくれないという状況 ・こども会、自治会、老人会それぞれが別で動いているので、それぞれ何をやっていくか共有できていない ・市の広報や自治会の回覧を見えない人が多く、せっかくの情報が伝わっていない ・お祭りには参加してくるけど、運営側には入っていきたくない ・公民館でもハイキングを企画しているが、あまり人が集められない状況。自治会の回覧があまり機能していないのではないか	○他の地区や組織との連携・協力 お互いを知る ・地域（こども会・老人会）で気軽に集まれるスペースをつくる。（お互いに何をしているか分かる、立ち話ができるきっかけが必要） ・必要に応じて、隣の地区同士一緒に連携して協力して続けていく。必ずしも個々で頑張る必要はない
高齢者世代 ■どんなまちなら、いつまでも健康に暮らせるだろう ■誰が利用する、どのような集いの場が必要だろう		情報発信 ・こども食堂の広報にあたって、いかに支援が必要なるを集めるか、そしてどのように情報を伝えるかを考え、学校の協力を取り付けた。結果、これまでのどの方法より多くの人に情報が伝わった ・地域の配布物にイベントを載せてもらい、各戸に情報が伝わるようにする	○活動の負担軽減 ・草刈りをしやすくするために、電動草刈り機を買う

[中津地区]

○若い世代に関わってもらうために、子どもや若者と地域の関わりをつくる

3班

キーワード	現状・課題	アイデア
■若い世代が地域活動を知るために必要なことは何だろうか ■働く世代でも担える地域活動とは ■マンション住民が地域の一員としてつなげるために必要なことは何だろうか？	○若い世代と関わるきっかけがない ・花の植え替えをしており、それがコミュニケーションの場になっているが、世代が固まっており、若い人たちは参加していない ・防災訓練を放課後子ども教室と連携して実施し、子育て世代も参加しやすいようにした ○マンション住民や若い世代に地域の情報が届いていないのではない ・マンションに住む人たちに地域の情報が届いていない ・最近では地域協議会だよりをマンションにも全戸配布し始めている ○地域で子どもを見守っている ・陣内外科前で、交通安全の見守りをしている ・学童の集団下校がしっかりしている ○盆踊りは盛況 ・外から屋台を呼ぶのではなく、役回りで担当の地域の人が屋台を出している ・こども会の活動も盆踊りも、親世代は来ても小学校の親世代ぐらいまでで、中高生くらいになると子どもも親世代も来なくなる ・イベントやお祭りは一部の世代だけが参加している ○若い世代を地域の主役にしたい ・中学生くらいまでは地域との関わりが必要ではないだろうか ・今の子ども達が楽しめる内容になっていないかもしれない ・若い人向けの踊りの曲を取り入れたいと思っている	○子どもも達と地域が関わるきっかけをつくりたい ・地域の人や企業の人目につくところ（イオンなど）で、小学生が作った本の帯などの作品を展示してはどうか。周辺住民さんや地元企業の人に見に来てほしい ・本の読み聞かせ ・地域の交通安全教室 ○小学校と連携して子ども達だけでなく親世代とも関係を作れないか ・小学校の防災に向けた引き取り訓練では、親が全員集まるので、大勢の人を巻き込むチャンス。そこで小学校と地域で連携したイベントを一緒にしてはどうか ○SNSを活用した発信ができないか ・若い世代に向けて、SNSを活用した情報発信ができないか ○中学生と連携した地域学習 ・社会や地域への参加を授業として取り組んでもらうことで、（10～20年後を見据えた）担い手の育成になるのではない ・中学生も（このワークショップのような）地域の課題解決に向けた議論はできるのではない ・地域への愛着を醸成する意味でも、子どもの頃から地域と関わることは大事 ・社会参画を学ぶ上でも、地域に密着したイベントに参加したり考えることが大事である ・盆踊り実行委員会に入ってもらえ等、イベント等に運営や設営から参加してもらうことで、学びながら地域と関わってもらえるのではない ○大学生と連携して若いアイデアを取り入れたい ・市内に私立大学がたくさんあり、大学生が多い ・立命館大学の学生さんなど、若いアイデアを考えてもらったり、運営に協力してもらえないか

[中津地区]

- 負担のない活動で子ども達を見守る
- 働く世代も担い手になるために参加のハードルを下げる

4班

キーワード	現状・課題	アイデア
■子どもの安全のために地域ができることはなんだろう？ ■交通安全や防災・防犯の面で危険だと思う箇所は？	○子どもが登下校するのに危険な箇所がある 枚方に行く道 ・道が狭いけれど交通量が多い。トラックやダンブ、バスなどの大きな車両も通る ・小学校の周辺に信号のない交差点がある ・中村町に住む子は通学路に近い <u>学校の東側の道</u> ・寺田町に住む子が良く使う道 ・信号のない横断歩道が多くある ○朝の見守り活動は効果的！でも下校時の対応までは難しい ・朝の見守り活動はとも助かっている ・夕方の時間は見守り活動はないため、子ども達だけで帰ってくる ・通学路は危険箇所を避けるように指定されているけれど、子どもは違うルートで帰ってきてたりもする。PTAでも月1回危険箇所を確認して広報誌に載せている ・夕方の下校時間は学年によってバラバラなので見守るのは難しい	○負担のない活動で子どもたちを見守れないか？ ・豊中市では「わんわんパトロール隊」という活動をしている。犬の散歩の時間を登下校の時間に併せれば、自然と見守ることができるのではないかな？ ・犬の散歩だけでなく、ウォーキングなど、色んな方法があるのではないかな？ ・危険箇所を共有しておくとかよいのでは？ ○交通量の調整ができないか？ ・可能であれば、朝の登下校の時間だけでも危険な箇所の交通量を調整できるように、警察と相談できないか？
■働く世代でも担える地域活動とは？ ■地域活動の担い手はなぜ減っているのか、どうすれば持続的な形になるのか？	○中津地区にはいろんな地域活動があるけれど、実は知られていないものも？ ・中津にはたくさんさんの地域活動がある ・地区体育祭は参加したことがなく、当日の内容がわかっているという人もあり、参加のハードルが高いと感じている ・地区体育祭は子ども会に加入していないと参加できないルールになっており、参加のハードルが上がっているのでは ○働く世代には会議などの事前準備が負担になっている ・イベントは当日よりも、それまでの準備のための会議が負担になっているのではないかな？ ・働いている世代だと、家に帰ってきてから地域の会議に参加するのは大変	○改めて活動を周知することも大切なのでは？ ・最近引っ越してきた人も多くいるので、活動について改めて伝える必要があるのではないかな？ ・参加のための声掛けが不足しているのでは？ ○親子で出れる活動から参加してもらい、当日のお手伝いから始めてもらっては？ ・地区体育祭や盆踊りは親子で参加できるため、比較的参加のハードルが低いのではないかな？ ・当日までの準備に参加することが難しいのであれば、当日参加でもOKとして、当日の運営を協力してもらってはどうか ・例えば、運搬・受付・準備・片付けなど、当日にもすることはたくさんある
■誰が利用する、どのような集いの場が必要だろうか？	○老人会以外にも気軽に集まれる場所があるとよい ・マンションでも高齢の方が増えているが、老人会に入っていない人もいる ・老人会以外にも気軽に集まれる活動の場があるといい ・仲が良い人たちで集まっているグループは見かけが、開かれた場がないのではないかな？ ・世話役の負担が大きいので、やりたがらないのでは	○負担の小さい活動ならできるのでは？ ・お茶を飲む会など、気軽なものならできるのでは？ ・活動の規模を小さくしたら負担も小さくなるのでは？

第3回ワークショップのまとめ

第3回ワークショップでは、中津地区で進めた
いまちづくりアイデアをテーマに

- ・自己紹介
- ・地域活動の課題の共通項の共有
- ・地域活動の参加や増やすためのアイデア

を話し合いました。

- ・第2回までのワークショップで得られた課題点をおさらいしたうえで、話し合いました。

なぜ地域活動が衰退しつつあるのだろう・・・

人口減少や高齢化、社会の変化に起因して、

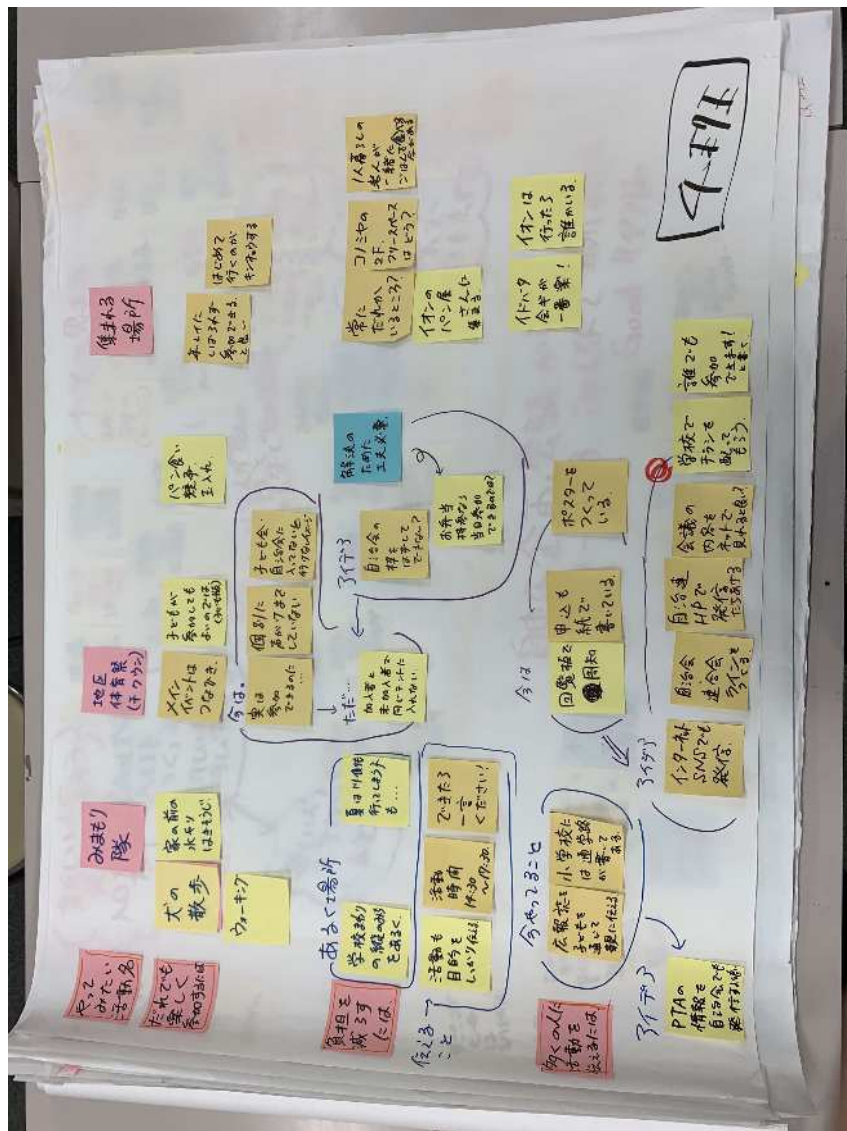
- ・自治会運営の負担が増加してきたこと
- ・自治会や地域活動に参加する人が少なくなってきたこと

どうすれば地域活動を継続できるだろう・・・

- ・楽しく、負担が少なく、情報を多くの人に届けることで、地域の担い手や参加者を増やしていくことが大切！

地域活動の参加を増やすためのアイデアを深めよう！

- ・2回目に出てきたアイデアをもとに、地域活動をさらに楽しく、負担を少なく、多くの人に発信するためのアイデアを深めました。



1 班

- 新しいイベントのイメージ「安威川ウォークラリー」
- 自由な企画会議からスタートする、みんなで取り組むgoodサイクル

アイディア		ウォークラリーの企画を想定した場合	今後の進め方
誰もが楽しく参加するためには	参加しやすい入口を作って新しい人を呼び寄せることが必要	・気軽に参加できそうなウォークラリーはできるかも ・コースの距離を変えられることのできる人々の参加を見込むことができる ・高齢者も参加しやすい内容とできる	自由な企画会議からスタートする、みんなで行き組むgoodサイクル
	ウォークラリーにプラスαの魅力付けを工夫するならば	歩数を競う、地域の歴史を伝える、鬼ごっこ、お茶・お菓子、拾って来た物アート、クイズ・謎解き、スポーツ少年団の先生に指導してもらえらる機会も作る、炊き出しをしても良い（豚汁コンテストもおもしろい）、GPSで歩いたルートの絵を描く	
負担を減らすためには	いろいろな人が参加できるとみんなで行き組むイベントになる	・子どもと若い人、いろいろな人が参加できる・集まれる ・いろいろな人が参加できるイベントであれば、各団体が協力しあえる（子どもからお年寄りまで参加できるニュー・スポーツであれば、こども会～老人会まで関われる。） ・今あるイベントを掛け合わせることも考えられる ・博物館にも協力してもらおう ・今まで（企画・運営を）やったことのない人でやる	新しいイベントのイメージ「安威川ウォークラリー」
	小さいことからスタートして育てることが大切	・大きなイベント一回がよいが、小さなイベントが多数開催されるのがよい。 ・単位自治会では大きなことは難しいので、小さいことから始めるのが考えやすい ・まずやってみることが大切	
		「楽しいだけでなく、準備がしんどくない」「作業の軽減（例えば開催日程を減らすなど）」「人的なサポートを増やす」	

[中津地区]

- 今あるイベントをさらによくするアイデア
- 負担が集中しないような運営の工夫をする
- 若い世代との対話や、情報の周知方法にも工夫をする

2班

		地区内運動会	盆踊り	防災訓練
誰もが楽しく参加するために	今あるイベントをさらに良くしていく	・種目を若い人向けにアツプデートしていく	・事前に練習が必要なものではなく、当日でも参加できるような簡単なものも追加する	・地震を体験できるトラックを準備するなど、目玉となるイベントを企画する
	まずは見るだけ(参加しなくてもOK)から始める	・まずは見てもらって雰囲気を感じてもらおう ・来てもらった時に積極的に話しかけて、次の参加に繋げる ・防災訓練などは参加しなくても、見てもらうことで学んでもらえることがある		
	関わる世代を増やす(特に若い世代)	・中高生の参加者を増やすことで、事前の準備や当日の準備を手伝ってもらおう ・企画の段階から、小中高生にも関わってもらおう ・学校の授業の時間で踊りを覚えてもらう		
負担を減らすためには	負担が集中しないように運営を工夫する	・企画担当、準備担当、当日担当など、出来るだけ負担が分散するように役割を再度整理する ・話し合いの回数は出来るだけ減らす。共働き世帯などは、夜間の話し合いは負担が大き		
	若い世代と直接話をする	・中高生に参加したいと思える種目は何かヒアリングやアンケートをする ・企画の段階から、小中高生にも関わってもらおうとで、友達にも広めてもらう		
多くの人に活動を伝えるには	他の会との連携を強める	・こども会にも呼びかけて子どもの参加を増やすとともに、保護者の参加も増やしていく(保護者にとってはこどもの参加に関わるきっかけになる)		
	周知の方法を再考する	・回覧板は情報が手元に残らないのであまり効果が無い。手元に残るチラシの全戸配布にチャレンジする ・クチコミで地道に周知していく(知っている人からの情報は価値が高い) ・トラックからスピーカーで周知する(視覚情報だけでなく音声情報も大事)		

アイデア

○参加の間口を広げ、若い世代と盛り上げる盆踊り

○活動の担い手を継承していく

○SNSなども活用した情報発信

[中津地区]

3班

アイデア		
誰もが楽しく参加するためには	参加の間口を広げる	・そもそも自治会に加入することで役の負担を背負うことへの懸念から、特に若い人や引越してきたばかりの人は自治会に入ってくれない。一方、地域の清掃活動など、スポーティな参加であれば、自治会に参加していない人も来てくれた。 ・地域のイベントでも、当日ふらっと来て手伝うような気軽な参加も許容する。 ・自治会に参加していない人へも地域活動の情報を周知して、まずはできることだけ参加してもらう「ワンタイムの参加」を広める。
負担を減らすためには	若い世代と一緒に盛り上げる	・立命館大学をはじめとする大学生と連携して企画や運営をする。（中村町では既に大学との連携ができています。） ・Z世代はこれまでと考え方が大きく違うため、若い人の考えも取り入れながら組織の在り方から見直す。
	地域活動の担い手を継承していく	・盆踊りのやぐらの設営は危険もあり、これまで毎年続けてきた役員の限られた数名しかノウハウを持っておらず、もはや職人化している。大学生をはじめ、若い世代に少しずつ継承する。 ・自治会の高齢化や年間を通して役員に余裕がないことから、地域活動の見直しがなかなかできない状況。市役所や民間の事業者に連携してもらい、地域外からの目線でアドバイスをもらうことや、コーディネートできる人材を見つけて在り方を考える。
多くの人に伝えるためには	地域活動の縮小と助け合い	・自治組織の役員は掛け持ちが多く、年間を通じて息つく間もなく動き続けており、余裕がなくなっている。 ・地域活動の集約や縮小を検討することや、広く中津地域の中で、自治会同士で助け合って負担を減らす。
	子どもの頃から地域に関わる	・子どもの頃から地域に関わってもらってもらうことで、地域への愛着を醸成するとともに、大人になってから地域に関わるハードルを下げる。 ・近年、小学校の特に3・4年生において地域学習が重要視され、実際に中津小学校でも地域学習に取り組んでいる。それを地域にフィードバックして活かす。
	SNSでの発信や小学と連携した周知	・こども食堂では、インスタで発信することや小学校で広報したこと、たくさんの方が来てくれた。SNSで若い人に情報を届ける他、小学校と連携して、子育て親世代に呼びかける。

ᐱ ᑦᐃᐱ

自由にアイデアを出し合うための工夫

自由な企画会議からスタートする、みんなで取り組むgoodサイクル
(ウォークラリーのクイズを考えるライティンググループなどで取り組めると良い)

参加しやすい入口を作って新しい人を呼び寄せる取り組み

新しいイベントのイメージ
「安威川ウォークラリー」

ワントайムの参加も可能としよう

自治会に参加していない人へも、広報したり、小さなイベント的に活動していくなど、ワントайムの参加を促していく

誰もが楽しく参加するためには

負担を減らすためには

多くの人に伝えるためには

みまもい隊の活動に色んなカタチで参加できるという

犬の散歩や家の前の水やり、掃き掃除、ウォーキングなど、見守るタイミングは色々ある

誰もが参加できる 体育祭・盆踊り・防災訓練に！

- ・若い人も参加しやすい内容を考える
- ・当日参加できるプログラムを考える
- ・準備の負担軽減や役割分担を考える
- ・中高生にも参加してもらえようように企画段階から関わってもらおう
- ・SNSなども使って誰でも知ることのできる情報発信を行う

いくつになっても集まれる場所をつくろう！

- ・年齢に縛られずに参加できる場
- ・今ある場を活用することから考える

参考資料

ワークショップ当日資料等

中津地区の 魅力と課題とこれからを話し合おう

第1回

2021年10月17日（日） 10:00-12:00



地域活動の活性化に向けたワークショップ

[中津地区]

○地域コミュニティの現状

【背景】

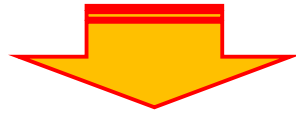
- 少子高齢化に伴う人口減少や人口構造の変化
- 人々の価値観の変化
- ライフスタイルの多様化
- 核家族化、単身世帯や共働き世帯の増加



【現状（課題）】

- 自治会加入率の低下（56.1%）
- 高齢化による担い手不足
- 自治会等の役員就任への負担感
- 地域活動に対する負担感





【影響】

- 自治会等への未加入や脱会
- 防犯、防災、福祉、環境などの自治会機能が縮小

「安全・安心で住みよいまちづくり」
への影響が懸念される。

そこで！！



■ワークショップ対象及び目標

○地域自治組織結成校区

地域コミュニティ基本指針

⇒「地域が主体的に行う取組」の一つである
「協議の場づくり」として実施。

目標「人材の育成、地域活動の活性化」

○地域自治組織未結成校区

地域コミュニティ基本指針

⇒「地域が主体的に行う取組」の一つである
「地域自治組織づくり」として実施。

目標「担い手の充実、活動への参画」



ワークショップ 全3回の流れ

第1回	中津地区の魅力と課題を 考えよう	10/17 (日) 10時-12時
第2回	中津地区のまちづくりテーマを 深めよう	11/28 (日) 10時-12時
第3回	中津地区で進めてみたい まちづくりアイデアを考えよう	12/12 (日) 10時-12時



本日の目的

中津地区の魅力と課題を 考えよう

- 10:00- 開会挨拶・ワークショップの説明など
- 10:15- 話し合いの準備運動（アイスブレイク）
- 10:25- 自己紹介
- 10:30- 今回の話し合いの趣旨・視点（レクチャー）
- 10:35- グループ別での話し合い
- 11:30- 全体共有
- 11:50- 今後に向けて・閉会挨拶



話し合いで大切にしたいこと

1. みんなの話は反対せずフムフムと聞こう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話そう
3. 思っていることをドンドン出そう
4. みんなで力を合わせてワイワイ盛り上がりよう
5. 楽しくニコニコと参加しよう

グループにはファシリテーターと呼ばれる、話し合いのサポート役がいます。
(話をしやすい場にしたり、整理したり、より良い話し合いを促す人です)



話し合いで大切にしたいこと

合意形成の場ではありません

アイデアを出し合い方向性を見出す場

役割や権限・責任は
一旦横に置いておきましょう！



話し合いの準備運動 (アイスブレイク)

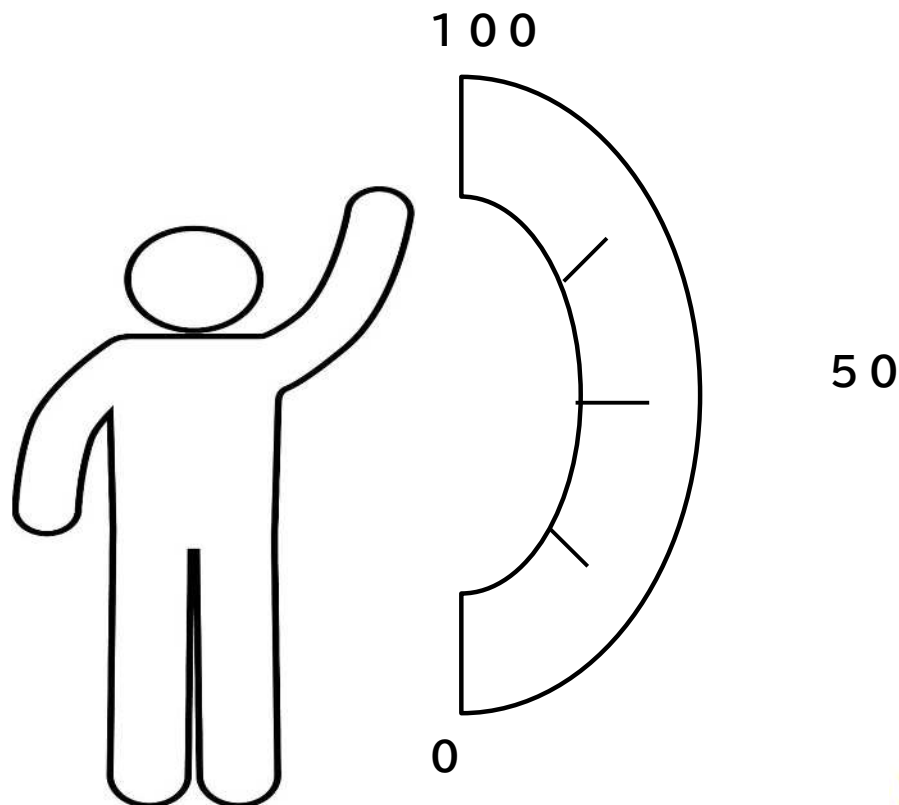
手上げゲーム

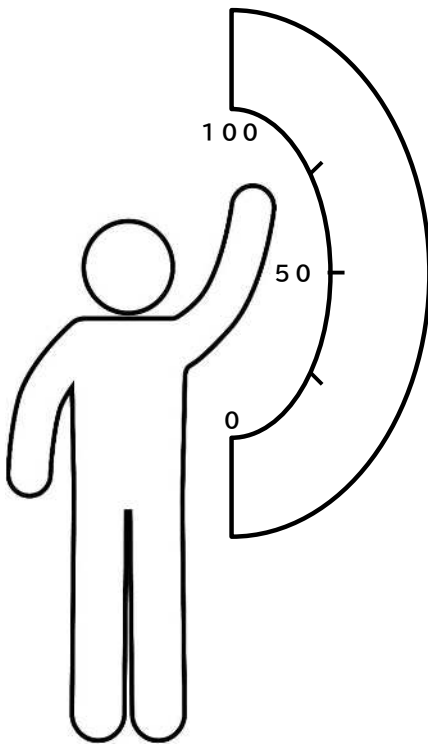
いくつかの質問に対する答えを
手を挙げる角度で表現するゲーム
周りの人の手の角度も見てくださいね

接触せずに・・・

身体も少し使えて・・・

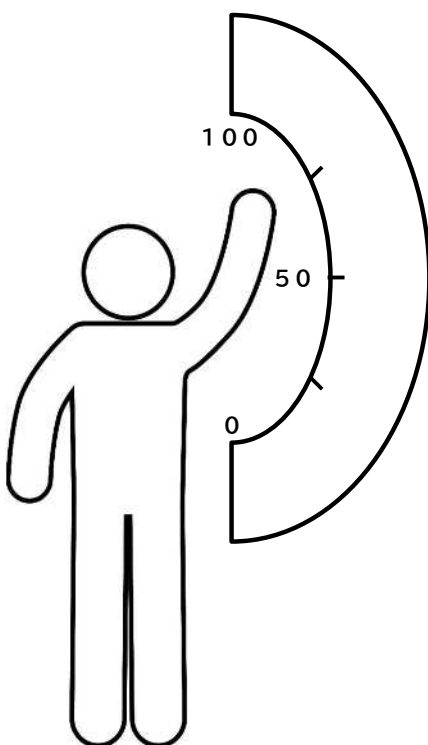
参加者の考え方の一端が見える





問1)
今日は、2021年で、
〇〇%経過しているでしょうか？

→正解) 73.7% (269日目)



問2)
茨木市の高齢化率 (65歳以上人口率)
は何%でしょうか？

→正解) 24.3%

* 住民基本台帳 (2021年9月30日現在)

ちなみに・・・

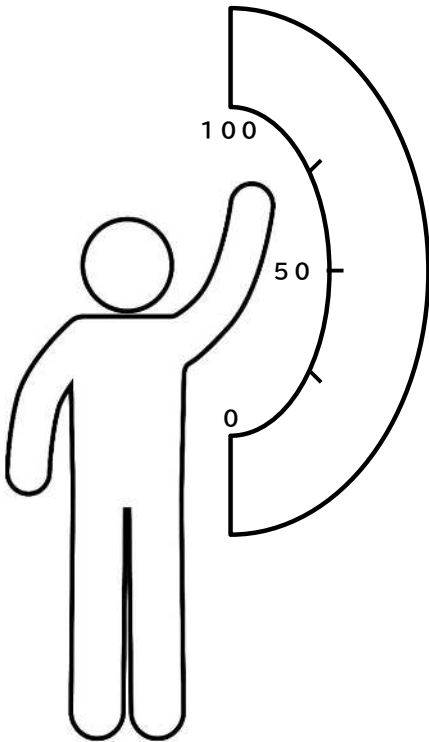
全 国：28.2%

* 総務省・住民基本台帳 (2021年1月1日現在)

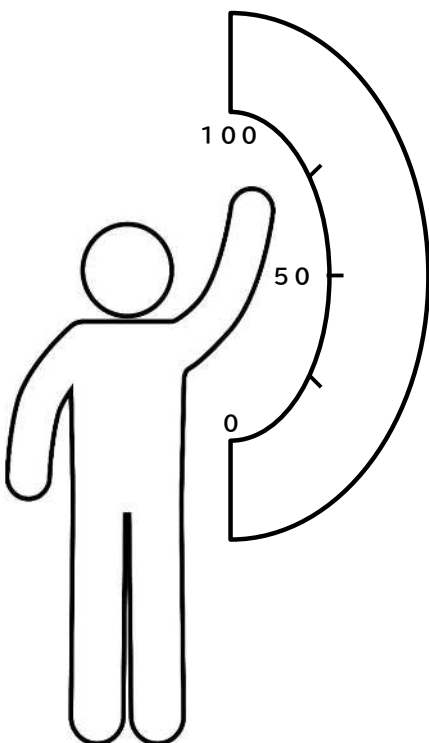
大阪府：27.0%

* 住民基本台帳 (2021年1月1日現在)





問3)
今日の朝ごはんの満足度は
何点でしたでしょうか？



問4)
中津小学校区地域協議会に
点数をつけるとすれば
何点ですか。



グループに分かれて話そう

自己紹介

①名前

②所属団体等と
活動内容

③各グループで自由に



グループでの話し合い

地図を使って中津地区の
魅力や課題を書き出そう！

話し合いのゴール（目的）

中津地区に感じる魅力や課題を出し合い、各班で共有することで、取り組んでいくべき課題や実施したい新しい活動アイデア等について、参加者同士で共有すること

→今後、どのように話し合っていくかイメージができる。



自慢できる・良い場所や活動を出し合おう！

【例】
こんな
お祭りが
あるよ

【例】
利便性が
高く住み
やすいよ

炭水比は、次が西暦。

よく行くお店 (物販・飲食・サービス・ レジャー など)	昔から変わらないと 感じる風景	こどもの遊び場	公園
お祭り	催し	伝統・文化・言い伝え	身近に感じる自然
移動や買い物の利便性	こんな人がいるよ	美しい風景・場所	くつろぎの場所
最近、新しくできたお店	いつも集まる場所		

次なる
茨木へ。

茨木には、次がある。

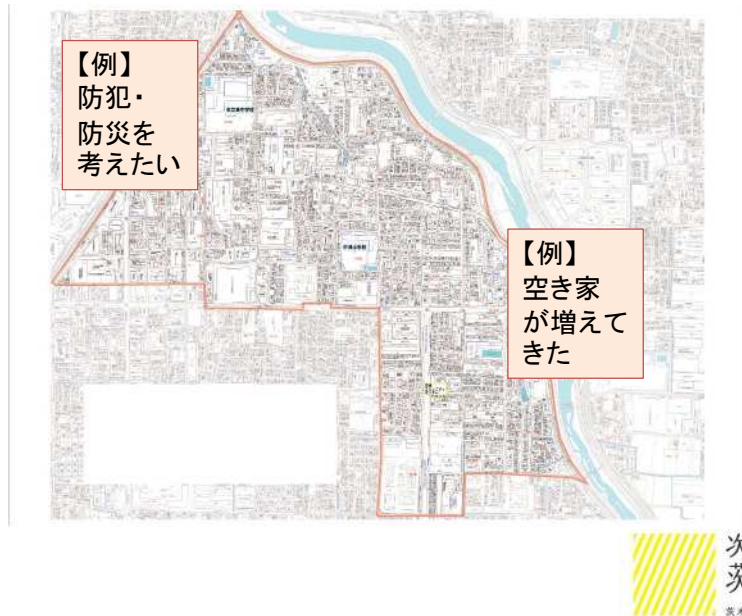
並木比佐，次郎西春。

中津の課題はなんだろう

中津の課題や困りごとを書き出そう！

丸ドットシールと付箋を使って、課題を書き出そう！

思いつくものがなかったら、「課題カード」を一枚引いて、カードから連想される課題を話しましょう



次なる
茨木へ。

課題カード

生活マナー・モラル	住環境の問題	地域活動団体の担い手不足	子育てや教育の問題
空き家の増加	防災・防犯	こんな場所があったらいいな (今はないけど...)	交通安全
高齢化が進むことで 出てきた問題	コミュニティ(つながり)の希薄化		
少子化が進むことで 出てきた問題	コロナへの対応		

次なる
茨木へ。

全体共有

各グループから
話し合いの中で見つけた魅力や課題を紹介

1 グループ5分程度でお願いします

次回は今回の発表内容を踏まえて、
話し合いの材料を用意します。

次回（第2回）予定

今日話し合った、中津の魅力と課題をもとに・
中津地区の
まちづくりのテーマを深めよう

2021年11月28日（日）
10時 ～ 12時

よく行くお店
(物販・飲食・サービス・
レジャー など)



昔から変わらないなと
感じる風景



お祭り



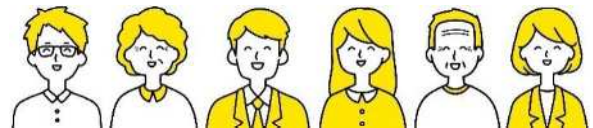
催し



移動や買い物の利便性



こんな人がいるよ



最近、新しくできたお店



いつも集まる場所



こどもの遊び場



公園



伝統・文化・言い伝え



身近に感じる自然



美しい風景・場所



くつろぎの場所



課題カード

生活マナー・
モラル



住環境の問題



空き家の増加



防災・防犯



高齢化が進むことで
出てきた問題



コミュニティ(つながり)
の希薄化



少子化が進むことで
出てきた問題



コロナへの対応



地域活動団体の
担い手不足



子育てや
教育の問題



こんな場所があったらいいな
(今はないけど・・・)



交通安全



中津地区の まちづくりテーマを深めよう

第2回

2021年11月28日（日） 10:00-12:00



地域活動の活性化に向けたワークショップ

[中津地区]

ワークショップ 全3回の流れ

第1回	中津地区の魅力と課題を 考えよう	10/17 (日) 10時-12時
第2回	中津地区のまちづくりテーマを 深めよう	今日11/28 (日) 10時-12時
第3回	中津地区で進めてみたい まちづくりアイデアを考えよう	12/12 (日) 10時-12時



本日の目的

中津地区のまちづくりテーマを 深めよう

- 10:00- 開会挨拶・ワークショップの説明など
- 10:10- 話し合いの準備運動（アイスブレイク）
- 10:15- 自己紹介
- 10:20- 今回の話し合いの趣旨・視点（レクチャー）
- 10:25- グループ別での話し合い
- 11:30- 全体共有
- 11:50- 今後に向けて・閉会挨拶



話し合いで大切にしたいこと

1. みんなの話は反対せずフムフムと聞こう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話そう
3. 思っていることをドンドン出そう
4. みんなで力を合わせてワイワイ盛り上がろう
5. 楽しくニコニコと参加しよう

グループにはファシリテーターと呼ばれる、話し合いのサポート役がいます。
（話をしやすい場にしたり、整理したり、より良い話し合いを促す人です。）



話し合いで大切にしたいこと

合意形成の場ではありません

アイデアを出し合い方向性を見出す場

役割や権限・責任は
一旦横に置いておきましょう！



話し合いの準備運動
(アイスブレイク)

色紙ゲーム

いくつかの質問をしますので、
色紙を挙げてお答えください



中津地区に何年住んでる？

30年以上

20年以上30年未満

10年以上20年未満

10年未満



通勤手段は？

電車（阪急）

電車（JR）

徒歩・自転車

通勤していない・その他



好きな冬の食べ物は？

なべ

おでん

シチュー

その他



中津地区のいいところは？

利便性が高い住環境

豊かな自然環境

人のつながり・コミュニティ

その他



中津地区の魅力と課題

魅力	課題
・地域全体で子育てを見守るまち (子どもの見守りをしている、子ども食堂) ・地域活動の活発なまち (盆踊り、地区体育祭、コミセンフェスタの餅つき) ・地域自治組織が積極的に活動している (ICTなど先進的な取組み、関係者が協力的) ・マンションが増えて若い世代が増えている (マンション全体で自治会へ加入、若い人が運動会へ参加) ・防犯・防災活動に取り組むまち (防災訓練など防災活動が活発、防犯の整備) ・交通・買い物などの生活利便性が高い (駅に近い、商業施設が多い、バスが多い) ・自然が豊かなまち (大きな公園が多い、安威川、桜など自然が多い) ・歴史的な魅力があるまち (牟礼神社・溝咋神社、春と秋にお祭りがあ	・子ども会の活動が困難になっている (子ども会の数が減少、子どもも親も忙しい、人手不足) ・高齢者間の繋がりが希薄化している (老人会の会員が少ない、一人暮らしの高齢者が多い) ・地域の集いの場が必要 (高齢者の集う場所が少ない) ・マンションに住む若い世代と地域との関係を考える必要がある (若い世代が増えたが自治会加入者が少ない) ・地域のつながりが希薄化している (コミュニティが少ない、自治会加入率低下) ・これからの自治運営のあり方の見直しが必要 (地域活動の担い手が不足、役を同じ人が掛け持ちしている) ・マナーを守り、住環境がよいまちにしたい (ゴミ出しのルールを守れない人がいる、堤防の適切な草刈) ・地域の交通安全に課題がある (信号無視などの自転車マナー)

地域活動の活性化に向けたワークショップ

テーマ	魅力	課題
高齢者	・高齢者が交流する機会がある (公民館活動の充実、シニアプラザでの交流)	・高齢者間の繋がりが希薄化している (老人会の会員が少ない、一人暮らしの高齢者が多い) ・地域の集いの場が必要 (高齢者の集う場所が少ない)
子ども	・地域全体で子育てを見守るまち (子どもの見守りをしている、子ども食堂)	・子ども会の活動が困難になっている (子ども会の数が減少、子どもも親も忙しい、人手不足)
若い世代と地域	・マンションが増えて若い世代が増えている (マンション全体で自治会へ加入、若い人が運動会へ参加)	・マンションに住む若い世代と地域との関係を考える必要がある (自治会に入るところと入らないところがある)
地域活動	・地域活動の活発なまち (盆踊り、地区体育祭、コミセンフェスタの餅つき) ・地域自治組織が積極的に活動している (ICTなど先進的な取組み、関係者が協力的)	・地域のつながりが希薄化している (コミュニティが少ない、自治会加入率の低下) ・これからの自治運営のあり方の見直しが必要 (地域活動の担い手が不足、役を同じ人が掛け持ちしている)
安全安心	・防犯・防災活動に取り組むまち (防災訓練など防災活動が活発、防犯の整備)	・マナーを守り、住環境がよいまちにしたい (ゴミ出しのルールを守れない人がいる) ・地域の交通安全に課題がある (信号無視などの自転車マナー)
魅力を活かす	・交通・買い物などの生活利便性が高い (駅に近い、商業施設が多い、バスが多い) ・自然が豊かなまち (大きな公園、安威川、桜など自然が多い) ・歴史的な魅力があるまち (牟礼神社・溝咋神社、春と秋にお祭りがあ	・住環境がよいまちにしたい (堤防の適切な草刈)

前回ワークから見えてきた中津の6つのテーマ

高齢者	年齢を重ねても、いつまでも中津地区で豊かに楽しく暮らしていくためには？
子ども	地域で子どもを見守り、子どもが健やかに育つためには？
若い世代と地域	働き盛りで忙しい若者世代と、地域でうまく関わっていくためには？
地域活動	地域全体が一体となり、多様な世代が活躍できるような地域活動を続けていくためには？
安全・安心	どんな世代の人も安全・安心に暮らし続けるまちにするためには？
魅力を活かす	歴史や自然などの中津地区の魅力を活かして、もっと住みよいまちにしていけるためには？



テーマに関連する問い

どんなまちなら、いつまでも健康に暮らせるだろう 年齢を重ねても、いつまでも中津地区で豊かに楽しく暮らしていくためには？	誰が利用するどのような集いの場が必要だろう 年齢を重ねても、いつまでも中津地区で豊かに楽しく暮らしていくためには？	子ども会に参加するメリットは何だろう 地域で子どもを見守り、子どもが健やかに育つためには？	どうすれば子ども会の活動を継続していけるだろう 地域で子どもを見守り、子どもが健やかに育つためには？	子どもの安全のために地域ができることは何だろう 地域で子どもを見守り、子どもが健やかに育つためには？	若者世代が地域活動を知るために必要なことは何だろう 働き盛りで忙しい若者世代と、地域でうまく関わっていくためには？	働く世代でも担える地域活動とは 働き盛りで忙しい若者世代と、地域でうまく関わっていくためには？
地域の活動はなぜ続ける必要があるんだろう 地域全体が一体となり、多様な世代が活躍できるような地域活動を続けていくためには？	イベントやお祭りに若い人も高齢者も、もっと参加して盛り上げていくために必要なことは 地域全体が一体となり、多様な世代が活躍できるような地域活動を続けていくためには？	自治会に参加するメリットは何だろう 地域全体が一体となり、多様な世代が活躍できるような地域活動を続けていくためには？	地域コミュニティが希薄になってきていることに対して、協議会ができることは 地域全体が一体となり、多様な世代が活躍できるような地域活動を続けていくためには？	地域活動の担い手はなぜ減っているのかどうすれば持続的な形になるのか 地域全体が一体となり、多様な世代が活躍できるような地域活動を続けていくためには？	マンション住民が地域の一人としてつながるために必要なことは何だろう 働き盛りで忙しい若者世代と、地域でうまく関わっていくためには？	
地区内での交通安全の課題点はどうだろうか どんな世代の人も暮らし続けるまちにするためには？	防災・防犯の面で危険だと思う場所とは どんな世代の人も暮らし続けるまちにするためには？	災害や犯罪に強い中津地区にするためにどんなことが必要か どんな世代の人も暮らし続けるまちにするためには？	利便性の高い中津地区をもっと住みよいまちにするために必要なことは 歴史や自然などの中津地区の魅力を活かして、もっと住みよいまちにしていけるためには？	公園がより魅力的な場所となるために必要なことは 歴史や自然などの中津地区の魅力を活かして、もっと住みよいまちにしていけるためには？	公園・川などの自然や歴史をどのように活かしたまちづくりが考えられるか 歴史や自然などの中津地区の魅力を活かして、もっと住みよいまちにしていけるためには？	

テーブルワークの進め方

- ・ 振り返りを踏まえて、「この問いについて考えたい！」というものの選び、手に取ってください
- ・ テーブルで2～3つの問いを選び、話し合いを深めていきましょう。

①振り返り	前回のテーブルの意見の振り返り	5分
②テーマ設定	問いカードから関心がある問いを選ぶ	5分
③話し合い	問いについて考えを深めて、課題の本質や大事なしたいポイントを整理	20～30分 ずつ
④アイデア整理	発表に向けて出し合ったアイデアを整理	5分
⑤全体発表	各グループから発表・意見交換	20分

グループに分かれて話そう

テーマに関する話し合い

模造紙（1つの問いにつき1枚）

(1) 選んだテーマに関連する 地域の 現状	(2) テーマに関する 課題 と その課題が起きる 要因
(3) 課題を解決するための アイデア	

取組みシート

次回のワークで 具体的に 考えていきたい 取組み の頭出し

グループに分かれて話そう

自己紹介

①お名前

②所属団体等



全体共有

各グループから
話し合った現状や課題、
考えた取組みを紹介

1 グループ5分程度でお願いします

次回（第3回）予定

今日話し合った、中津の取組み案をもとに・・・
中津地区で進めてみたい
まちづくりアイデアを考えよう

2021年12月12日（日）
10時 ～ 12時



誰が利用する
どのような集いの
場が必要だろう

年齢を重ねても、
いつまでも中津地区で
豊かに楽しく
暮らしていくためには

どんなまちなら、
いつまでも健康に
暮らせるだろう

年齢を重ねても、
いつまでも中津地区で
豊かに楽しく
暮らしていくためには

子どもの安全のため
に地域ができること
は何だろう

地域で子どもを見守り、
子どもが健やかに
育つためには

子ども会に参加する
メリットは何だろう

地域で子どもを見守り、
子どもが健やかに
育つためには

どうすれば子ども会
の活動を継続してい
けるだろう

地域で子どもを見守り、
子どもが健やかに
育つためには

マンション住民が
地域の一員として
つながるために必要
なことは何だろう

働き盛りで忙しい若者
世代と、地域でうまく関
わっていくためには

若者世代が地域活動
を知るために必要な
ことは何だろう

働き盛りで忙しい若者
世代と、地域でうまく関
わっていくためには

働く世代でも担える
地域活動とは

働き盛りで忙しい若者
世代と、地域でうまく関
わっていくためには

地域の活動はなぜ
続ける必要があるん
だろう

地域全体が一体となり、
多様な世代が活躍できる
ような地域活動を
続けていくためには

イベントやお祭りに
若い人も高齢者も、
もっと参加して盛り
上げていくために
必要なことは

地域全体が一体となり、
多様な世代が活躍できる
ような地域活動を
続けていくためには

自治会に参加する
メリットは何だろう

地域全体が一体となり、
多様な世代が活躍できる
ような地域活動を
続けていくためには

地域コミュニティが
希薄になってきている
ことに対して、
協議会ができることは

地域全体が一体となり、
多様な世代が活躍できる
ような地域活動を
続けていくためには

地域活動の担い手は
なぜ減っているのか
どうすれば持続的な形
になるのか

地域全体が一体となり、
多様な世代が活躍できる
ような地域活動を
続けていくためには

地区内での交通安全の
問題点はどのような
ところか

どんな世代の人も
安全・安心に
暮らし続けるまちにする
ためには

防災・防犯の面で
危険だと思う場所は

どんな世代の人も
安全・安心に
暮らし続けるまちにする
ためには

災害や犯罪に強い
中津地区にするために
どんなことが必要か

どんな世代の人も
安全・安心に
暮らし続けるまちにする
ためには

利便性の高い中津地区
をもっと住みよいまち
にするために必要な
ことは

歴史や自然などの
中津地区の魅力を活かして、
もっと住みよいまちにして
いくには

公園・川などの自然や
歴史をどのように活か
したまちづくりが考え
られるか

歴史や自然などの
中津地区の魅力を活かして、
もっと住みよいまちにして
いくには

公園がより魅力的な
場所となるために必要
なことは

歴史や自然などの
中津地区の魅力を活かして、
もっと住みよいまちにして
いくには

中津地区で進めてみたい まちづくりアイデアを考えよう

第3回

2021年12月12日（日） 10:00-12:00



地域活動の活性化に向けたワークショップ

[中津地区]

ワークショップ 全3回の流れ

第1回	中津地区の魅力と課題を 考えよう	10/17 (日) 10時-12時
第2回	中津地区のまちづくりテーマを 深めよう	11/28 (日) 10時-12時
第3回	中津地区で進めてみたい まちづくりアイデアを考えよう	今日12/12 (日) 10時-12時



本日の目的

中津地区で進めてみたい
まちづくりアイデアを考えよう

- 10:00- 開会挨拶・ワークショップの説明など
- 10:10- 自己紹介・話し合いの準備運動（アイスブレイク）
- 10:15- 前回の振り返り
- 10:25- 今回の話し合いの趣旨・視点（レクチャー）
- 10:30- グループ別での話し合い
- 11:30- 全体共有
- 11:50- 今後に向けて・閉会挨拶



話し合いで大切にしたいこと

1. みんなの話は反対せずフムフムと聞こう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話そう
3. 思っていることをドンドン出そう
4. みんなで力を合わせてワイワイ盛り上がろう
5. 楽しくニコニコと参加しよう

グループにはファシリテーターと呼ばれる、話し合いのサポート役がいます。
（話をしやすい場にしたり、整理したり、より良い話し合いを促す人です。）



話し合いで大切にしたいこと

合意形成の場ではありません

アイデアを出し合い方向性を見出す場

役割や権限・責任は
一旦横に置いておきましょう！



グループに分かれて話そう

自己紹介

①お名前

②所属団体等

③最近楽しかったこと



1 班

前回の振り返り

選択した「問い」カード + 補足キーワード	現状・課題	アイデア
■働く世代でも担える地域活動とは ■マンション住民が地域の一員としてつながるために必要なことは何だろう ⇒自治会への若手の参加が必要 ■若者世代が地域活動を知るために必要なことは何だろう ⇒働く世代が転出してしまっている ↓ 若い世代の参加が必要	○楽しいイベントには若い世代も参加してくれる - 行事をもっと楽しいものにできないか？ - まず参加してもらうことが大切 - 料理系イベントは楽しいので参加率が高い - 獅子舞もたくさん人が来てくれた - 演劇も盛り上がる ○負担が大きいことが担い手不足の原因になっているかも - 役がまわってくると大変なので抜けてしまう - 人任せになってしまっている - ずっと活動に参加してくれている人が頑張っているから行事が継続している - いかにいろんな人に世話役になってもらうか考える必要がある - 自治会長は2年はやらないと活動内容が理解できない。それが負担になるのだけだ ○今の子どもはどんな感じ？ - ソフトボールよりもサッカーなどの方が人気がある？ - スポーツクラブなどで子供も忙しくて時間がない - 子どもが楽しめるプログラムであれば続けられる ○子ども会を支える大人や保護者の負担が課題 - 保護者が行事に全部ついていく必要があるのが負担になっている - 土日の活動が多いと参加しにくい - 子どもが子ども会に入りたいと思える内容になっているか？ - ソフトボールなどを教えてくれる大人が少ない	○やりたい事、やれる事を持ち寄る形で楽しい行事を作りたい - 核となる活動やイベントがある中でこそ人が集まる - 一緒にやっていける場が必要 - 新しい人を引き寄せるためには、自分が楽しめる企画であることが大切 - 自分が得意なことでも参加できる場ができるとよい - やりたい事をやれることが大切 ○みんなで行事を作りあげていく仕組みを作りたい - 一人一人が少しずつ手伝える事をつくっておくことが大切 - 子ども会では、元保護者の人が手伝ってくれる - バックアップできるお助け隊があればいい - 企画がちゃんとあるところで手伝うことができる ○多様な年齢層と一緒に参加できるプログラムを作りたい - 年齢層を分けずに、若い人と一緒に取り組める行事にして、一緒に参加できる（または年齢ごとに参加しやすい配慮をした）プログラムを考える キーワード ⇒ 「楽しい」 - 楽しさを大事にしたイベントの内容を考える - いろんな人が参加して、みんなで取り組むことのできる体制や仕組みを考える
■どうすれば子ども会の活動を継続していけるだろう ■子ども会に参加するメリットはなんだろう ■子どもの安全のために地域でできることは何だろう ↓ 子供の参加が必要		
■自治会に参加するメリットは何だろう ⇒自治会としての取組 ⇒コミュニティへの参加 ■地域活動の担い手はなぜ減っているのか、どうすれば持続的な形になるのか ⇒イベントは自治会単位でやれることと、校区全体で取り組むべきことがある。 ↓ 若い世代と子供の参加を進めることで、担い手を将来に引き継ぐ！！		
	○高齢者の集い・老人会などの課題 - 高齢者も老人会に入る人が減っている - 新しい人にも参加してきてほしい - 老人クラブの名前のイメージもよくない - 高齢者の中でも若い人と年配の人がおり、年齢の枠を取り払って参加しやすくする必要がある	

2 班

前回の振り返り

選択した「問い」カード + 補足キーワード	テーマの現状・これまでの取組・活動	課題とその原因	アイデア
各世代の視点に立って、地域のこれからのことを考えてみよう (前回出た、交通便利性、歴史文化、自然・公園、地域のつながりといったテーマは、世代固有の問題ではないので、全世代で考えて行くべきことではないか) 若者・子育て世代 ■若者世代が地域活動を知るために必要なことは何だろう ■マンション住民が地域の一員としてつながるために必要なことは何だろう 高齢者世代 ■どんなまちなら、いつまでも健康に暮らせるだろう ■誰が利用する、どのような集いの場が必要だろう	○老人会の構成 60歳から入会できるが、70歳がメインとなっている。友達に誘われて入る人が多い - 現在180人程度いる - 自治会よりも、老人会の方が活発な印象。自治会の方が動きが鈍くなっているのでは ○老人会でのイベント事情 - 市の老連に参加する形式でイベントが行われている（スポーツなど） - 人気のバス旅行（¥3000）に行くためには入会が必要 - ハイキング（40人）は年2回実施している（過去は年間5回実施しており、回数自体は減っている）	○老人会の入会人数が減少、活動メンバーの固定化 - 時代も変わり、60歳以上も働く時代なので、入会が少なくなっている。特に男性の入会が少ないという状況 - これまで地域との関わりがなく、馴染みにくいことが原因？ 老人会に入る前の、自治会活動などの参加率向上がポイント？ - バス旅行など、大きなイベントは参加する幅が広がるが、その他の活動になると参加するメンバーが固定されてしまっている - 役職が自分にまわりそうになると辞める人が出てくる ○高齢化・広報不足により、活動・イベントの継続が困難に - 高齢化が進み、歩く系のイベントが難しくなってきた - 公園の草引きの参加が女性ばかりで、しかも高齢者（65～）ばかり。マンションに参加を呼び掛けるチラシも貼らせてくれないという状況 - 子ども会、自治会、老人会それぞれが別で動いているので、それぞれ何をやっているか共有できていない - 市の広報や自治会の回覧を見ていない人が多く、せっかくの情報が伝わっていない - お祭りには参加してくれるけど、運営側には入っていきにくい - 公民館でもハイキングを企画しているが、あまり人が集められない状況。自治会の回覧があまり機能していないのではないかな	○これまでの活動を楽しむ工夫 - 交流広場を充実させ、カラオケ・麻雀・手芸といった活動を復活させる - 孫や親子でもハイキングに参加できるように、参加の幅を広げる - 市の老連ではなく、単体の老人会でそれぞれ何をやっていくかを考え、個性を出していく - 河川敷のスポーツ（野球）は会関係なく自由に集まっており、好きなことで集まっている。自治会もそのような形で集まれば理想 ○他の地区や組織との連携・協力をお互いを知る - 地域（子ども会・老人会）で気軽に集まれるスペースをつくる。（お互いに何をしたいのか分かん、立ち話ができるきっかけが必要） - 必要に応じて、隣の地区同士一緒に連携して協力して続けていく。必ずしも個々で頑張る必要はない 情報発信 - 子ども食堂の広報にあたって、いかに支援が必要の人を集めるか、そしてどのように情報を伝えるかを考え、学校の協力を取り付けた。結果、これまでのどの方法より多くの人に情報が伝わった - 地域の配布物にイベントを載せてもらい、各戸に情報が伝わるようにする ○活動の負担軽減 - 草刈りをしやすくするために、電動草刈り機を買う

3 班

前回の振り返り

選択した「問い」カード + 補足キーワード	現状・課題	アイデア
■若い世代が地域活動を知るために必要なことは何だろう ■働く世代でも担える地域活動とは ■マンション住民が地域の一人としてつながるために必要なことは何だろうか？	○若い世代と関わるきっかけがない - 花の植え替えをしており、それがコミュニケーションの場になっているが、世代が固まっており、若い人たちは参加していない - 防災訓練を放課後ことも教室と連携して実施し、子育て世代も参加しやすいようにした ○マンション住民や若い世代に地域の情報が届いていないのではないか - マンションに住む人たちに地域の情報が届いていない - 最近は地域協議会だよりをマンションにも全戸配布し始めている ○地域で子どもを見守っている - 陣内外科前で、交通安全の見守りをしている - 学童の集団下校がしっかりしている ○盆踊りは盛況 - 外から屋台を呼ぶのではなく、役回りで担当の地域の人から屋台を出している - 子ども会の活動も盆踊りも、親世代は来ても小学校の親世代くらいまでで、中高生くらいになると子どもも親世代も来なくなる - イベントやお祭りは一部の世代だけが参加している ○若い世代を地域の主役にしたい - 中学生くらいまでは地域との関わりが必要ではないだろうか - 今の子どもたちが楽しめる内容になっていないかもしれない - 若い人向けの踊りの曲を取り入れたいと思っている	○子どもたちと地域が関わるきっかけをつくりたい - 地域の人や企業の人目につくところ（イオンなど）で、小学生が作った本の帯などの作品を展示してはどうか。周辺住民さんや地元企業の人に見に来てほしい - 本の読み聞かせ - 地域の交通安全教室 ○小学校と連携して子ども達だけでなく親世代とも関係を作れないか - 小学校の防災に向けた引き取り訓練では、親が全員集まるので、大勢の人を巻き込むチャンス。そこで小学校と地域で連携したイベントを一緒にしてはどうか ○SNSを活用した発信ができないか - 若い世代にも地域の情報が届くように、SNSを活用した情報発信ができないか ○中学生と連携した地域学習 - 社会や地域への参加を授業として取り組んでもらうことで、（10～20年後を見据えた）担い手の育成になるのではないかと - 中学生も（このワークショップのような）地域の課題解決に向けた議論はできるのではないかと - 地域への愛着を醸成する意味でも、子どもの頃から地域と関わることは大事 - 社会的参画を学ぶ上でも、地域に密着したイベントに参加したり考えることが大事である - 盆踊り実行委員会に入ってもらったり、イベント等に運営や設営から参加してもらったりすることで、学びながら地域と関わってもらいたいのではないかと ○大学生と連携して若いアイデアを取り入れてはどうか - 市内に私立大学がたくさんあり、大学生が多い - 立命館大学の学生さんなど、若いアイデアを考えてもらったり、運営に協力してもらえないか

4 班

前回の振り返り

選択した「問い」カード + 補足キーワード	現状・課題	アイデア
■子どもの安全のために地域ができることはなんだろう？ ■交通安全や防災・防犯の面で危険だと思う箇所は？	○子どもが登下校するのに危険な箇所がある 校方に行く道 - 道が狭いけれど交通量が多い。トラックやダンプ、バスなどの大きな車両も通る - 小学校の周辺に信号のない交差点がある - 中村町に住む子は通学路に近い 学校の東側の道 - 寺田町に住む子が良く使う道 - 信号のない横断歩道が多くある ○朝の見守り活動は効果的！でも下校時の対応までは難しい - 朝の見守り活動はとても助かっている - 夕方の時間は見守り活動はないため、子どもたちだけで帰ってくる - 通学路は危険箇所を避けるように指定されているけれど、子どもは違うルートで帰ってきたりもする。PTAでも月1回危険箇所を確認して広報誌に載せている - 夕方の下校時間は学年によってバラバラなので見守るのは難しい ○中津地区にはいろんな地域活動があるけれど、実は知られていないものも？ - 中津にはたくさん地域活動がある - 地区体育祭は参加したことがなく、当日の内容がわかっていないこともあり、参加のハードルが高いと感じている - 地区体育祭は子ども会に加入していないと参加できないルールになっており、参加のハードルが上がっているのでは ○働く世代には会議などの事前準備が負担になっている - イベントは当日よりも、それまでの準備のための会議が負担になっているのではないかと - 働いている世代だと、家に帰ってきてから地域の会議に参加するのは大変	○負担のない活動で子どもたちを見守れないか？ - 豊中市では「わんわんパトロール隊」という活動をしている。犬の散歩の時間を登下校の時間に併せれば、自然と見守ることができるのではないかと？ - 犬の散歩だけでなく、ウォーキングなど、色んな方法があるのではないかと？ - 危険箇所を共有しておくとういのは？ ○交通量の調整ができないか？ - 可能であれば、朝の登下校の時間だけでも危険な箇所の交通量を調整できるよう、警察と相談できないか？ ○改めて活動を周知することも大切なのでは？ - 最近引っ越してきた人も多くいるので、活動について改めて伝える必要があるのではないかと - 参加のための声掛けが不足しているのでは？ ○親子で出れる活動から参加してもらい、当日のお手伝いから始めてもらっては？ - 地区体育祭や盆踊りは親子で参加できるため、比較的参加のハードルが低いのではないかと？ - 当日までの準備に参加することが難しいのであれば、当日参加でもOKとして、当日の運営を協力してもらってはどうか - 例えば、運搬・受付・準備・片付けなど、当日にもすることはたくさんある ○負担の小さい活動ならできるのでは？ - お茶を飲む会など、気軽なものならできるのでは？ - 活動の規模を小さくしたら負担も小さくなるのでは？

文化展	地区体育祭
青少年まつり	映画会
盆踊り	コミセンフェスタ
老人会	

人口減少、高齢化、
時代・社会の変化



負担増加のスパイラル

イベント・祭りへの
参加者減少

行事のお世話をする
人が少なくなった

自治会に加入すると
負担が大きいのでは
と見られるように

特定の役員等に負担
が集中してしんどい

自治会に加入する人
が減ってしまった

地域活動の
担い手不足

人口減少、高齢化、
時代・社会の変化



参加者減少のスパイラル

イベント・祭り
への参加者減少

イベントが老若男女が楽
しいものではないのでは

地域に参加しないと
地域への愛着も持たない

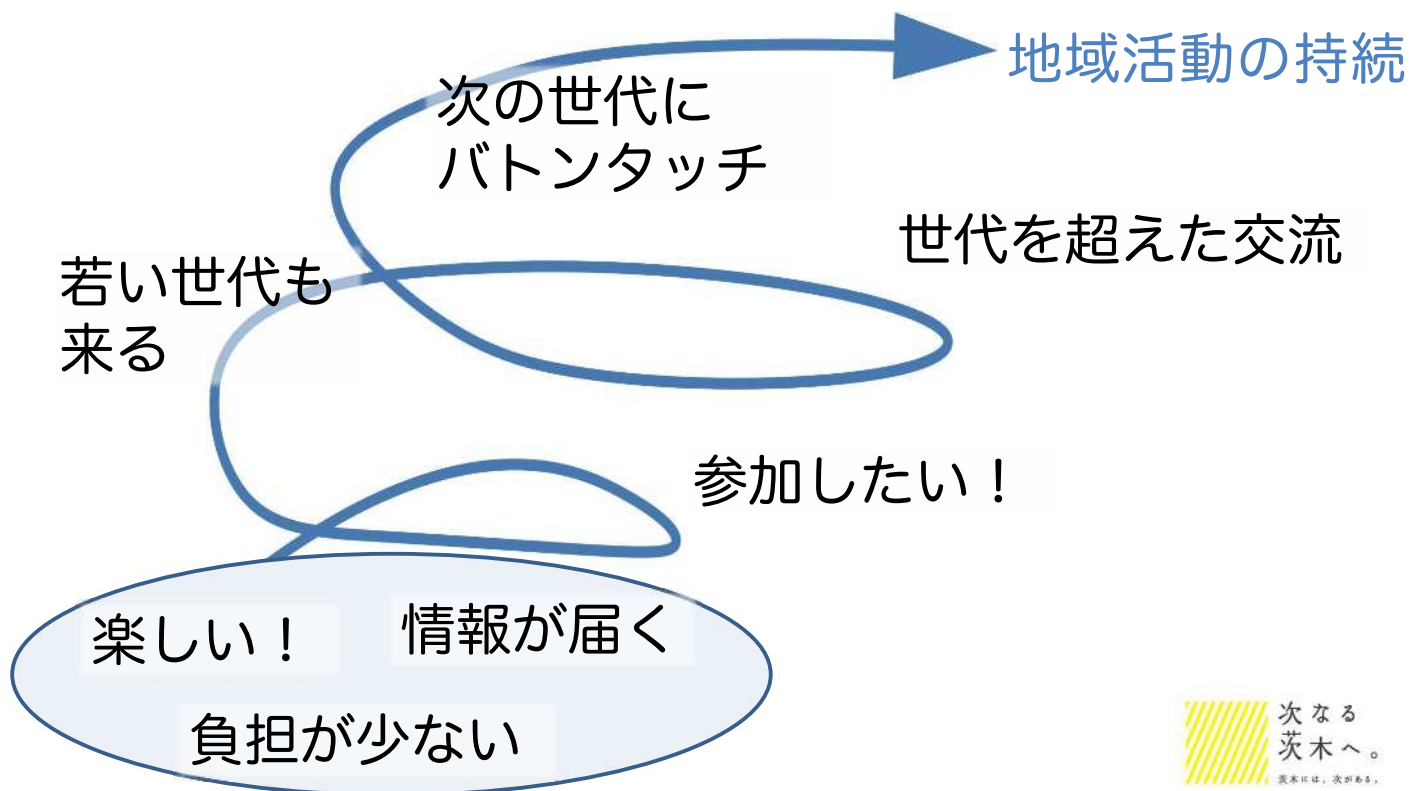
特に若い人・
子どもの参加が
少ない

楽しくないことの世話役は
やってもらえない

特定の役員等に負担
が集中してしんどい

地域活動の
担い手不足

地域活動の持続に向けたスパイラル



テーブルワーク

どの地域活動にも共通することとして

- ・ 活動の負担が大きいこと
- ・ 活動の魅力が低下していること
- ・ 情報が全世代に届いていない

ということが
ボトルネックにあるのではないのでしょうか



テーブルワーク

→地域活動への参加を促すために、

- ・ 楽しく！
- ・ 負担が重たなく！
- ・ 情報が届く！

そんな視点を大事にしながら、既存の活動の見直しや新しい活動を考えてみましょう



テーブルワーク

地域活動への参加を増やすためのアイデアを深めよう

既存のイベント

- ・ 草刈り
- ・ 運動会
- ・ 盆踊り
- ・ 防災訓練
- ・ 文化展
- ・ 交通安全の見守り活動

新規のイベントや活動のアイデアでもOK！

、、 などなど



テーブルワーク

活動の名前
①老若男女楽しく参加するためには
②負担を減らすためには
③多くの人に伝えるためには

次なる
茨木へ。
茨木には、茨がある。

テーブルワーク（例）

盆踊り
老若男女楽しくするためには →若い人も楽しめるように、踊りの曲にパプリカ（米津玄師）を取り入れる
負担を減らすためには →中学生や大学生を募って、一緒に運営してもらう →若者目線の企画もしてもらう →既存の作業を省力化できないか見直す
多くの人に伝えるためには →小中学校にチラシを掲示してもらう →SNSを活用して情報発信する

次なる
茨木へ。
茨木には、茨がある。

全体共有

各グループから
テーブルで考えた
地域活動を紹介

1 グループ5分程度でお願いします